

山口蓬春記念館 平成25年度 夏季展

山口蓬春 と いきもの —描かれた生命の美—

平成25年

5月31日[金]—8月4日[日]

前期：5月31日[金]—6月30日[日]

後期：7月2日[火]—8月4日[日]

※会期中、一部展示替えを行います。
展示作品は都合により一部変更することがあります。



山口蓬春《望郷》小下絵 昭和28年(1953)

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日：毎週月曜日(7月15日は除く)、7月16日(火)

入館料：一般／500円(高校生以下は無料)

団体割引／50円割引(20名以上の団体で1週間前までに予約した場合)

障害者割引／50円割引(同伴者1名を含む)

連携館割引／50円割引 ※連携館：葉山しおさい公園・博物館(大人券のみ)、神奈川県立近代美術館 葉山(一般券・学生券のみ)

年間入館券／1,500円(発行月から翌年の同月末日まで有効) ※リニューアル工事に伴う休館期間分は延長いたします。

【工事休館のお知らせ】平成25年8月5日(月)～10月24日(木) リニューアル工事のため休館いたします。

主催：山口蓬春記念館・公益財団法人JR東海生涯学習財団 後援：神奈川県教育委員会、葉山町教育委員会

山口蓬春記念館

HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320

TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192

URL:<http://www.hoshun.jp/>

山口蓬春といきもの

— 描かれた生命の美 —

鳥や動物、植物など「いきもの」を描く行為は太古の昔から現代まで続き、東洋では花鳥画として、人物画・山水画と並ぶ主要なジャンルの一つに位置づけられています。そしてその多くの作例は時代を越えて人々を魅了し、後世の作家たちの創作活動をする上での手だてにもなっています。

日本画家・山口蓬春(1893-1971)は、そのような伝統的な画題を学びながらも新しい日本画を模索していきました。著書『新日本画の技法』(昭和26年)の中で、従来の花鳥画には無理に不自然な鳥を配するような悪習慣があることを指摘し、「構図の為に殊更に鳥を配置するようなことをせず、たとえ鳥が無くても、自然感の出るものは、強いて鳥を配する必要はないのである。」と述べています。

その後、鳥だけではなく魚や動物などのいきものたちを題材にした作品を発表した蓬春は、主に植物と古陶磁を題材にした静物画の制作を経て、晩年には再び画面に小鳥たちが登場する格調高い作風を展開させます。そこには伝統的な画題にあえて挑戦する蓬春の成熟した境地を窺うことができるのです。

本展覧会では、山口蓬春の日本画作品及び模写・素描、また彼が蒐集し愛蔵したコレクションを展示し、山口蓬春と「いきもの」という観点からその画業をも探ります。



山口蓬春《南嶋薄暮》 昭和15年(1940)



山口蓬春《新冬》 昭和37年(1962) [後期のみ]



山口蓬春《佐与利》 昭和26年(1951)



山口蓬春《さざえ》素描 昭和21年(1946)



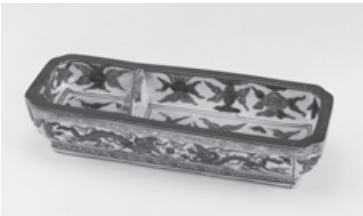
山口蓬春《石鯛》素描 昭和21年(1946)



山口蓬春《コリー》素描 昭和8年(1933)



《漢瓦白馬俑》
中国・唐時代(7-8世紀)



《五彩龍文筆皿》「大明萬曆年製」銘
中国・明時代(16-17)



山口蓬春《飛潭》
昭和3-4年(1928-9)
[前期のみ]



山口蓬春《首夏》
昭和4-5年(1929-30)
[前期のみ]



《白鷺図》 呂紀派 中国・明時代(16世紀) [後期のみ]

※会期中、一部展示替えを行います。展示作品は都合により一部変更することがあります。

【交通案内】
JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より 京浜急行バス3番乗場 又は 京浜急行線「新逗子駅」南口2番乗場より「海岸回り葉山行(逗12)」か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約18分「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車 徒歩2分
※専用駐車場はございません。車でおいで頂く場合は、周辺の駐車場をご利用下さいますようお願いいたします。

次回展示のご案内 初冬特別展 会期:平成25年10月25日(金)ー12月23日(月・祝)
山口蓬春と風景画 — 画家の愛した美しき日本のすがた —

山口蓬春記念館 HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320
TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192
URL:http://www.hoshun.jp/

